

第3学年〇組 学級活動（1）指導案

日 時 平成〇〇年〇〇月〇〇日（〇）第〇校時
授業者 〇〇 〇〇
生徒数 男子19名 女子17名 計36名

1 議題 「卒業に向けてより良い学級を作ろう」

内容（1）学級や学校の生活づくり ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 議題について

（1）生徒の実態

本学級は、元気で明るく男女の仲が良い学級である。最高学年として、学校生活に意欲的に取り組む姿勢がある。一方で、人見知りな性格の生徒が多く、自分をさらけ出せずにいる生徒も見受けられる。先日行われた合唱コンクールまでに培ってきた人間関係を更に深め、本時の話し合い活動を通じて家族のような一層温かい人間関係づくりにつなげたい。

（2）議題設定の理由

本学級では、1学期に行われた体育祭において、学級の中で役割分担を行い、一人一人が責任を持って取り組むことにより、体育祭の参加への関心が高まり、集団への所属感や連帯感が深まった。また2学期の合唱コンクールの取組では、学級会で決定した内容に基づき一人一人が合唱コンクールに向けて、責任を持って取り組むことができた。

このような状況を踏まえ、これまでの学校生活や合唱コンクール等を通して育んだ所属感や連帯感を生かし、卒業に向けたクラスとして具体的な取組について話し合いを行うことにより、中学校生活の集大成としてより良い学級を作りあげたい。また、これから直面する進路実現や様々な課題に対して、学級の仲間と共に乗り越えていく気持ちを高め、何事にも共に高め合い、支え合える集団を育てたいと考える。

3 研究課題との関わり

（1）西部地区学力向上のための授業研究会の研究課題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

（2）研究の視点

課題解決に向けた話し合い活動の充実

（3）具体的な取組

本校では、学校教育目標「自ら学び考え行動する生徒」の育成を目指し、生徒一人一人の自己肯定感と学習意欲を向上させることを主題に、H27・28年度川越市教育委員会及び川越市教育研究会の委嘱を受け、学校研究「一人一人の生徒が生き生きと学ぶ指導法の研究（「わたしの授業」の実践）」に取り組んできた。整備された落ち着いた学習環境の中で、基礎的・基本的な知識及び技能の習得とのバランスを図りながら、思考力・判断力・表現力等の育成を充実させることに取り組み、教職員が「授業でいかに生徒と向き合うか」を学び、教育のプロとして目の前の生徒一人一人の実態に応じた「わ・た・しの授業（生徒にとって「分かる」「楽しい」「主体的な」授業）」の実践を通して指導法の工夫改善を進めてきた。特に、授業の中で一人一人の生徒が「自力でじっくり考えたことを表現する場面」をつくり、言語活動の充実を踏まえ授業を実践する中で、改めて「学びに向かう土台を築く学級づくり」に取り組むことの重要性を認識するに至った。

そこで、今年度は、研究を一層深めるため「特別活動」（学級活動）を組織的かつ計画的に実施することで生徒一人一人の学習意欲を向上させ、学力向上を目指している。主な取組は、

- ・「時を守り場を清め礼を正す」を基軸に、基本的な生活習慣や決まりを守る姿勢を身に付ける。
- ・「学級活動（1）」を基軸に、学級などの集団で力を合わせて問題に取り組む経験を積む。
- ・「生徒会活動」「ホームエリア活動」を基軸に、様々な人や地域社会とのつながりを実感する。

である。

4 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団、社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の生活の充実と向上に関わる問題に関心を持ち、他の生徒と協力して、自主的、自律的に集団活動に取り組もうとしている。	学級の一員として、自己の役割と責任を自覚し、他の生徒の意見を尊重しながら、よりよい方法について考え、判断し、実践している。	充実した集団生活を築くことの意義や学級の生活づくりへの参画の仕方、学級集団として意見をまとめる話し合い活動の仕方について理解している。

5 事前の活動

月 日 ()	活動の場	活動の内容	・指導上の留意点 ◎目指す生徒の姿と評価方法
10月30日 (月)	合唱コンクール当日	・話し合い活動や練習の成果が実るように精一杯活動する。	・これまでの取組を想起させ、生徒の活動意欲が高まるよう助言する。 ◎活動に対して、学級の仲間と協力して、自主的・自律的に取り組もうとしている。 (関)【観察】
10月31日 (火)	学級活動 (学級全員)	・合唱コンクールを終えての振り返りを行う。	・落ち着いた態度で真剣に答えられるようにする。 ◎実践したことに関心を持ち、自主的に自己の考えをまとめている。 (関)【評価カード】
11月1日 (水)	放課後 (学級活動委員会)	・振り返り用紙等を集約し、議題を選定する。 ・提案理由を練り上げ、本時の活動計画を立てて話し合いの柱を検討する。	・生徒の思いを聞きながら、本時の流れなどを検討し、活動の見通しを持てるようにする。 ◎話し合い活動が深まるよう 自主的に準備を進めようとしている。 (関)【観察・評価カード】

6 本時のねらい

- 卒業に向けた学級の取組に関心を持ち、互いの考えを生かし合意形成を図ることができる。
- 学級の一員としての自覚を深め、学級への所属感や連帯感を深め、より良い学級をつくりあげることと主体的に関わることができる。

7 本時の展開

	活動の内容	・指導の留意点 ◎目指す生徒の姿 (評価の観点) 【評価方法】	資料等
活動の開始	1 開会の言葉 2 司会紹介 3 議題の発表	・学級活動委員会の代表がアンケート結果を示すことにより、解決すべき課題への関心を高める。 ・担任も本活動の意義を説明し、活動意欲を高める。	アンケート結果 学級会 マニュアル 学級活動カード
	4 提案理由発表	議題 「卒業に向けてより良い学級を作ろう」	
	【提案理由】 ※提案者：学級活動委員 1組は、体育祭や合唱コンクールなどの行事を通して、団結できる素晴らしい学級校です。しかし、アンケートでは「もっともっと団結した学級にしたい」「これからは進路選択や受験など一人一人バラバラな取組が増えて団結していけるか不安だ」などの意見もあり、一層改善する点があることが分かりました。そこで、「受験などを1組全員で乗り越える取組」を考え、実践することにより、「何事も共に高め合い支え合える1組」を作りあげられると考え、提案しました。		
	5 話し合いのめあて	・提案理由を補足しながら、学級への所属感を深める話し合いになるように助言する。	
めあて「自分の意見を持ちながら、相手の意見にも耳を傾ける。 発表の時は、相手に分かりやすい言葉で伝え、言葉の表現に気を付ける。」			
		◎本時の活動に意欲的に取り組もうとしている。(関) 【観察】	
活動の展開	6 話し合い (1) 柱1について ・具体的な「取組」を考えよう。	・出し合う→比べる→まとめるの3段階討議法で話し合いを行わせる。 ・話し合いが議題やねらいから逸れないよう、発表のルールや方法について学級活動委員に指導する。 ・否定的な発言や人を傷つける発言などについては、適時指導する。 ◎提案理由に基づいて、自分の考えを明確に持ち、理由を示しながら意見を述べている。(知) 【観察】 ◎他人の意見を尊重しながら、自分も他人もよりよい意見へと話し合いを深めている。(思) 【観察・学級活動カード】	学級活動カード
	(2) 柱2について ・「取組」を実践するための具体的な工夫を考えよう。	・「取組」の見通しを持たせ、具体的な方法や役割分担について決定させる。 ◎様々な意見から、集団として決定する方法について理解している。(知) 【観察】	
	7 決定事項の確認		
活動のまとめ	8 振り返り	・話し合いの反省や自分の決意などを、明確に持たせる。 ◎決定事項を学級で守ることの意義を理解し、集団の一員として取り組もうとしている。(関) 【観察・学級活動カード】	学級活動カード
	9 教師の話	・前回の活動より良くなった点を話す。 ・次回の活動へ向けた課題を話す。 ・学級活動委員等の活動を称賛する。	
	10 閉会の言葉		

8 事後の活動

月 日 ()	活動の場	活動の内容	・指導上の留意点 ◎目指す児童（生徒）の姿と評価方法
11月 7日 以降	放課後等 (学級全員)	・話し合い活動に おける 決定事項に基づ いて活動する。	・話し合い活動での決定事項を実践しているかどう かを見届け、助言する。 ◎目標の実現に向け、お互いに協力し尊重し合っ て決定事項を実践している。 (思)【観察】

9 板書計画

決定事項	話し合うこと② 取組を実践するための具体的な工夫を 考えよう。	話し合うこと① 具体的な取組を考えよう。	話し合いのめあて	第●回 学級会 議題 卒業に向けてより良い学級を作ろう。 提案理由
-------------	---------------------------------------	-------------------------	----------	---